腫瘍内科がおすすめする初期臨床研修プラン

腫瘍内科では内科学全般に関する幅広い知識や技術のみならず、臨床腫瘍学に関する専門的な能力も有する内科医の育成を目指しております。

腫瘍内科を志望する研修医には、1 年目は必修である救急・外科など医師としての礎となる分野をしっかり学んで頂きたいです。その上で最短でも 4 週間は腫瘍内科を選択し、医師として実際に苦しんでいる大勢のがん患者と接することで、**がん治療の魅力と必要性**を感じてください。2 年目は自由選択で腫瘍内科を選択し、より高い専門性を持ってがん治療を主治医として経験し、腫瘍内科医としてのキャリアプランを立てていただきたいです。

腫瘍内科の研修は、大学病院では消化管チーム、胆膵チーム、オンコロジー・肝チームの各専門チームにおいて幅広い症例を経験し、医師としての考え方のトレーニングを通して初期研修医として大きく成長できるよう指導いたします。教育関連施設では一般内科および救急対応も含めて、専門性を保ちながら後期研修医や診療医と同等に勤務出来る様に指導いたします。

１．研修病院の選択

A･B コース

協力型研修病院のうち下記の教育関連施設を選択していただくと、大学教室とつながりを持ちやすいです。
いずれも当科同門の腫瘍内科医を派遣しており、一般内科、一般救急対応を含めた専門性の高い症例を経験出来ます。
B コースは 1 年目に救急外来を選択できる病院をお勧めします。

C コース

下記の協力型研修病院と研修協力施設で短期研修が可能です。

腫瘍内科の教育関連施設			
協力型研修病院	斗南病院	北海道がんセンター	東札幌病院
（たすきがけ病院）	製鉄記念室蘭病院	王子総合病院	伊達赤十字病院
	小樽掖済会病院	留萌市立病院	市立千歳市民病院
研修協力施設	函館赤十字病院		

２．腫瘍内科医になるために研修が望ましい診療科

腫瘍内科医の場合、必修の内科では腫瘍内科で消化器疾患、血液疾患は学べますので、循環器、呼吸器、脳神経内科、免疫・リウマチ内科を各 4 週以上、外科は消化器外科、救急は ICU を 4 週以上でお薦めします。

３．コース選択

Aコース： 一般診療をまず身につけたいとき

・一般内科、一般救急対応と並行して、腫瘍内科の特殊性を体得できます。

・1 年次は大学で 4～8 週、2 年次は地域医療を経験後、専門性を高めるため 8～44 週の腫瘍内科選択をお勧めします。

<table>
<tr><td colspan="12">１年次　大学病院</td></tr>
<tr><td>４週</td><td>８週</td><td>12 週</td><td>16 週</td><td>20 週</td><td>24 週</td><td>28 週</td><td>32 週</td><td>36 週</td><td>40 週</td><td>44 週</td><td>48 週</td><td>52 週</td></tr>
<tr><td colspan="2">必修
内科
（腫瘍）</td><td>必修
内科
(循環器)</td><td>必修
内科
(呼吸器)</td><td>必修
内科
(脳神経)</td><td>必修
内科
（免疫）</td><td>必修
三次救急
（ICU）</td><td colspan="2">必修
救急</td><td>必修
外科
(消化器)</td><td>必修
産婦人科</td><td>必修
小児科</td><td>必修
精神科</td></tr>
<tr><td colspan="12">２年次　協力型研修病院</td></tr>
<tr><td>４週</td><td>８週</td><td>12 週</td><td>16 週</td><td>20 週</td><td>24 週</td><td>28 週</td><td>32 週</td><td>36 週</td><td>40 週</td><td>44 週</td><td>48 週</td><td>52 週</td></tr>
<tr><td>必修
地域医療</td><td colspan="12">選択
内科
（消化器・腫瘍）</td></tr>
</table>

Bコース： 専門性の高い診療、臨床研究を学びたいとき

・より専門性の高い腫瘍領域疾患を、時に臨床研究を交えながら数多く経験することが出来ます。

・1 年次は 4～8 週、2 年次は地域医療と精神科、脳神経内科、免疫・リウマチ内科を経験後、
専門性を高めるため 8～36 週の腫瘍内科の選択をお勧めします。

<table>
<tr><td colspan="12">１年次　協力型研修病院</td></tr>
<tr><td>４週</td><td>８週</td><td>12 週</td><td>16 週</td><td>20 週</td><td>24 週</td><td>28 週</td><td>32 週</td><td>36 週</td><td>40 週</td><td>44 週</td><td>48 週</td><td>52 週</td></tr>
<tr><td colspan="2">必修
内科
（消化器・腫瘍）</td><td colspan="2">必修
内科
（循環器）</td><td colspan="2">必修
内科
（呼吸器）</td><td colspan="2">必修
救急</td><td>必修
救急
(麻酔科)</td><td colspan="2">必修
外科</td><td>必修
産婦人科</td><td>必修
小児科</td></tr>
<tr><td colspan="12">２年次　大学病院</td></tr>
<tr><td>４週</td><td>８週</td><td>12 週</td><td>16 週</td><td>20 週</td><td>24 週</td><td>28 週</td><td>32 週</td><td>36 週</td><td>40 週</td><td>44 週</td><td>48 週</td><td>52 週</td></tr>
<tr><td>必修
地域医療</td><td>必修
精神科</td><td>選択
内科
(脳神経)</td><td>選択
内科
（免疫）</td><td colspan="9">選択
内科
（腫瘍内科、専門チーム x 各 12 週）</td></tr>
</table>

Cコース： 多くの指導医のもと、より専門性の高い疾患を中心に研修医したいとき

・より専門性の高い腫瘍領域疾患を、時に臨床研究を交えながら数多く経験することが出来ます。

・2 年目に協力型研修病院と研修協力施設で短期研修が可能です。

<table>
<tr><td colspan="12">１年次　大学病院</td></tr>
<tr><td>４週</td><td>８週</td><td>12 週</td><td>16 週</td><td>20 週</td><td>24 週</td><td>28 週</td><td>32 週</td><td>36 週</td><td>40 週</td><td>44 週</td><td>48 週</td><td>52 週</td></tr>
<tr><td colspan="2">必修
内科
（腫瘍）</td><td>必修
内科
(循環器)</td><td>必修
内科
(呼吸器)</td><td>必修
内科
(脳神経)</td><td>必修
内科
（免疫）</td><td>必修
三次救急
（ICU）</td><td colspan="2">必修
救急</td><td>必修
外科
(消化器)</td><td>必修
産婦人科</td><td>必修
小児科</td><td>必修
精神科</td></tr>
<tr><td colspan="12">２年次　大学病院</td></tr>
<tr><td>４週</td><td>８週</td><td>12 週</td><td>16 週</td><td>20 週</td><td>24 週</td><td>28 週</td><td>32 週</td><td>36 週</td><td>40 週</td><td>44 週</td><td>48 週</td><td>52 週</td></tr>
<tr><td>必修
地域医療</td><td colspan="9">選択
内科
（腫瘍内科、専門チーム x 各 12 週）</td><td colspan="3">選択
内科
(市内協力型病院・協力施設)</td></tr>
</table>